

【水性 柔軟・透湿タイプ】 超耐候・超低汚染型変性無機塗料

ダイヤスーパーセランフレックス 

【水性 柔軟・透湿タイプ】 超耐候・超低汚染型変性無機塗料

ダイヤスーパーセランフレックス



2023年4月1日よりシーカグループの株式会社ダイフレックスは
日本シーカ株式会社に統合され、新たにシーカ・ジャパン株式会社
としてスタートいたしました。

製品・工法に関するお問い合わせは
ホームページのお問い合わせフォームよりお願い申し上げます。
<https://jpn.sika.com/ja/system/contact-us.html#construction>



(25.6月現在) 25.6, 6,000 SJ

シーカ・ジャパン株式会社

東京都港区元赤坂1-2-7 赤坂Kタワー7F TEL. 03-6434-7291

BUILDING TRUST



BUILDING TRUST

DIA SUPER CERAN

超耐候・超低汚染型変性無機塗料

ダイヤスーパーセランシートーズ の進化

実績に裏付けられた信頼

無機塗料が進化を遂げるまでには長い努力の道のりがありました。

土木分野

無機塗料の出発点 —

不燃・超耐候・超低汚染 無機塗料
「ダイヤセラゼックス」発売 2025年廃止

1995年発売以来様々な実績



1995年



2002年



千葉マリンスタジアム (ZOZOマリンスタジアム) 2014年撮影

建築分野

建築用として柔軟性を付加
有機成分をハイブリッド

【強溶剤タイプ】 超耐候・超低汚染型変性無機塗料
「ダイヤスーパーセラン」発売 環境配慮型に移行のため2023年に廃止



Before



アトリエフィロンドール

After



【水性 柔軟・透湿タイプ】 超耐候・超低汚染型変性無機塗料
ダイヤスーパーセランフレックス 発売
戸建住宅改修用として究極進化

2017年



2006年



2004年

建築用としてさらなる作業性の進化

【弱溶剤タイプ】 超耐候・超低汚染型変性無機塗料
「ダイヤスーパーセランマイルド」発売

環境配慮型に

【水性タイプ】 超耐候・超低汚染型変性無機塗料
「ダイヤスーパーセランアクア」発売

2012年



省エネ 環境対応形

【弱溶剤・遮熱タイプ】 超耐候・超低汚染型変性無機塗料
「ダイヤスーパーセランマイルドIR」発売

ダイヤスーパーセランフレックス の新技術

サイディングやALCパネルが多い戸建住宅の改修にはさらなる柔軟性が求められます。

「スーパーセランフレックス」はスーパーセランシリーズにさらに柔軟性を与えました。

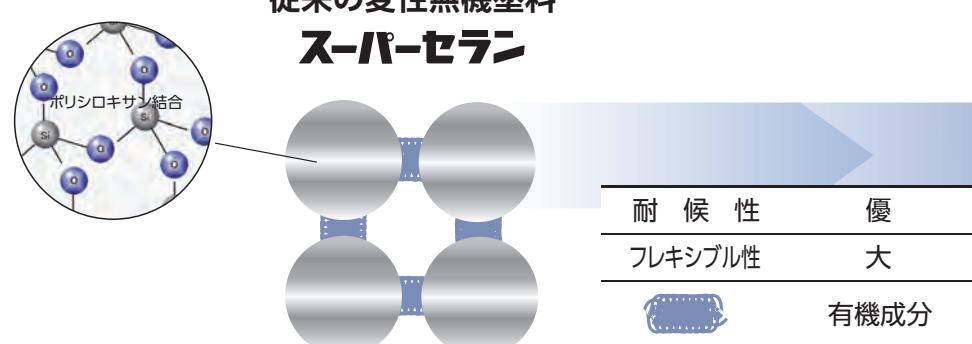
従来のスーパーセランシリーズ

有機成分で無機の短所をカバーすることにより無機の特長を最大限発揮させることに成功しました。

無 機	ダイヤスーパーセランシリーズの特性	有 機
発色不良、色がくすむ	鮮やかな色の調色が可能	鮮やかな色も出せる
硬い	下地に対応できる柔軟性とガラス並みの硬度	柔らかく、割れにくい
劣化しにくい	紫外線に強く従来のフッ素樹脂塗料よりも耐候性に優れる	劣化しやすい
汚れにくい	汚れにくく、長期間美しさを維持する	汚れやすい
燃えない	燃えにくい	燃えやすい

従来のスーパーセランの仕組み

土木分野で培った技術を生かし生まれた塗料



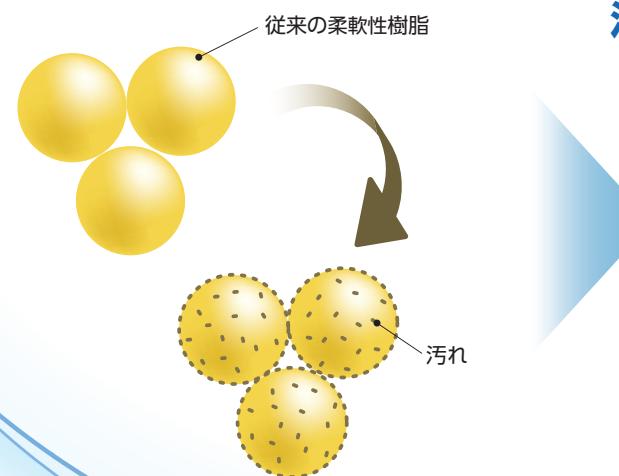
フレキシブル性を
大幅に
UP!
さらなる
柔軟性樹脂を
使いたい!

新 技 術 無機複合コアシェル構造

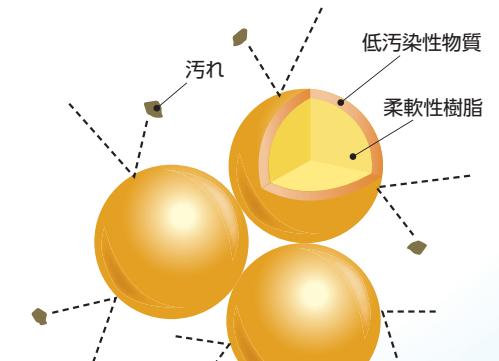
柔軟性 ↔ 超低汚染性

従来は『柔軟性』と『低汚染性』は相反する性能でしたが
無機複合コアシェル構造により機能兼備を実現しました。

柔軟性が高い樹脂は
汚れが付着しやすい



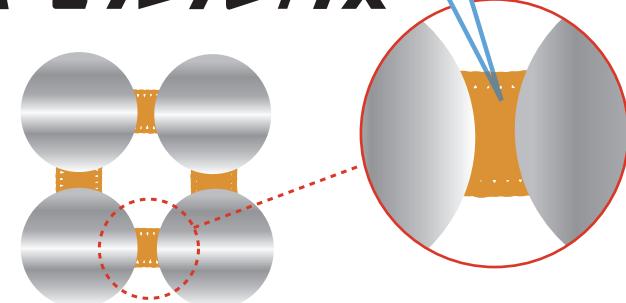
柔軟性樹脂の表面を低汚染性物質で
コーティングすることにより親水性が高まり
汚れが付着しにくく除去されやすい



無機成分を
減らさずに
実現しました。

耐 候 性	優
フレキシブル性	さらに大
有機成分	

変性無機塗料
スーパーセランフレックス



※無機塗料とは ポリシリコンに代表される無機質ポリマーをバインダーとする塗料

ダイヤスーパーセランフレックス 特長

様々な特長により塗替え時の美しさを永く保ちます。

特長
1

超耐候性

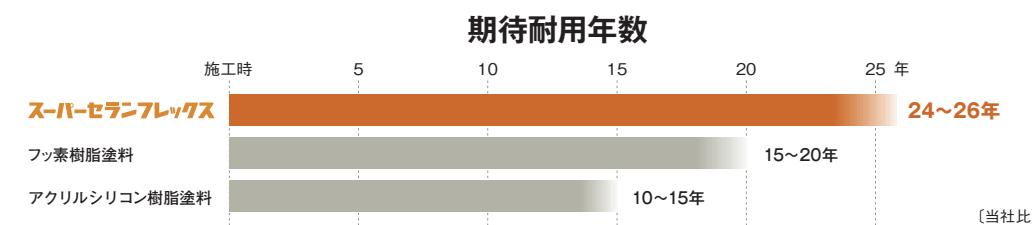
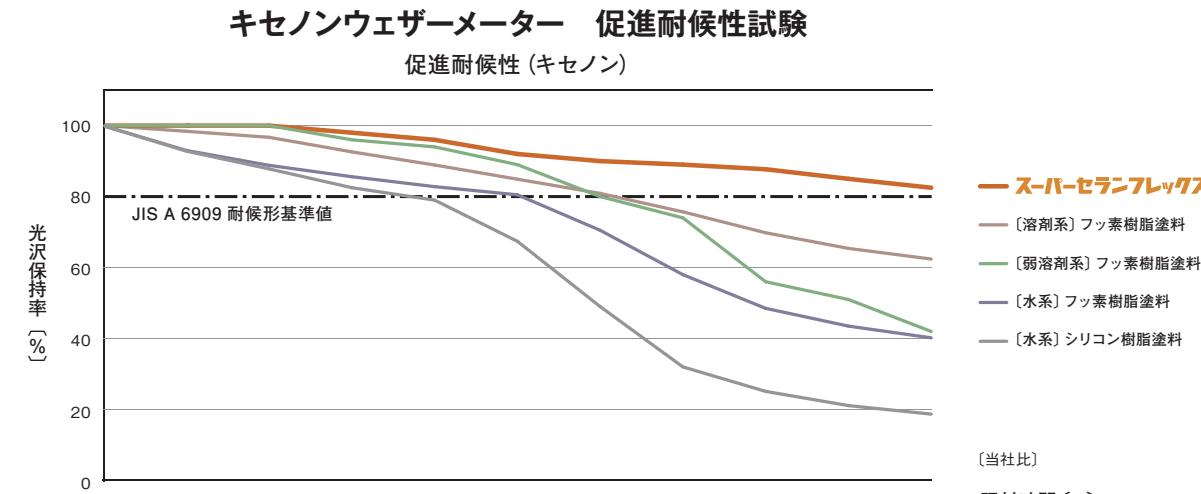
変性無機塗料の持つ最大の特長、フッ素樹脂塗料をしのぐ耐候性が建物の美観を長期にわたり維持し、保護します。

蓄熱性の高い部材は塗料の劣化を早めますので特に耐候性の高い塗料を推奨します。

耐候性の高い塗料は、塗料が持つ様々な機能の低下を抑制します。

Point!

窯業系サイディングやALCパネルなどの蓄熱性の高い部材を用いた建物の塗替えに最適です。



【期待耐用年数について】
塗膜は紫外線や熱、風雨等の劣化因子により段階的に性能が低下していきます。一般的には、汚れや変色に始まり、その後、表面劣化が進行し、チョーキング（白亜化）が発生、さらに進行するとひび割れや剥離等が発生します。期待耐用年数は、標準的な環境（地域や部位、部材の条件を除く）において、塗膜の持つ下地保護機能が低下する時点までの期間（次回の改修を行うに至るまでの標準的な年数）の目安として設定しております。よって、気象条件の厳しい地域や、天端や斜壁などの部位、蓄熱性の高いボード類など環境条件の厳しい面に施工された塗膜は自安とされた期待耐用年数よりは早期の劣化が予測されます。

当社は期待耐用年数を設定するにあたり、JISに定める規格値 光沢保持率80%を参考にはしておりますが、その基準が下地保護機能が低下する時点とは考えておりません。実際の建物では、チョーキングが進行しひび割れや剥離が広範囲に発生する手前が下地保護機能の低下時点と考えられております。当社は促進試験データによる塗膜劣化の傾向と実際におけるそれ以外の劣化因子を考慮して、蓄積されたデータより保護機能の低下時点を推測し、期待耐用年数を設定しております。

特長
2

柔軟性

柔軟性に優れた塗膜によりシーリング上に施工した場合のひび割れリスクを軽減します。

柔らかいシーリングの上に塗られた塗膜は下地の動きによりひび割れが発生しやすい状況にあります。

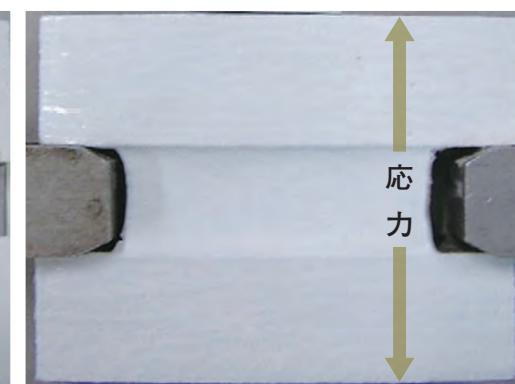
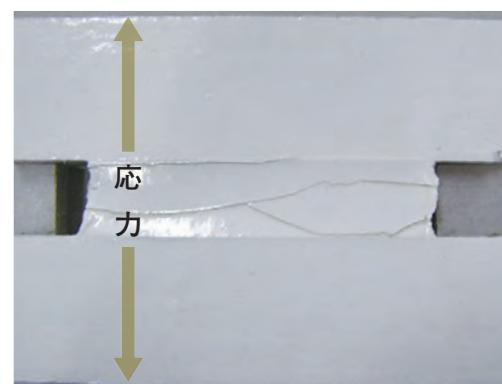
ダイヤスーパーセランフレックスはダイヤスーパー丹セイ（JIS A 6021 建築用塗膜防水材）の上塗材として適用できるほど、柔軟性に優れた塗膜が特長です。

この特長によりシーリング上に施工した場合、塗膜のひび割れを軽減することができます。

Point!

目地シーリングの多い窯業系サイディングやALCパネルなどを用いた建物の塗替えに最適です。

伸長時ひび割れ試験



従来の変性無機塗料

15%伸長時に、ひび割れが発生

ス-パーセランフレックス

40%伸長時も、ひび割れが発生しない

※弊社シーリング材による試験

ダイヤスーパーセランフレックス 特長

様々な特長により塗替え時の美しさを永く保ちます。

特長
3

超低汚染性

親水性の高い無機の塗膜が汚染物質を寄せ付けず、

雨水で汚れを落とす特性を持ちます。

無機の塗膜により、親水性の向上（雨水で汚れが落ちやすくなる）と帯電性の低下（静電気を帯びにくくすることで埃を引き寄せにくくする）を実現しました。

Point!

柔軟型の塗料でありながら従来の変性無機塗料と同レベルの超低汚染性を実現しました。



特長
4

透湿性

各種上塗材の中では最高クラスの透湿性を発揮します。

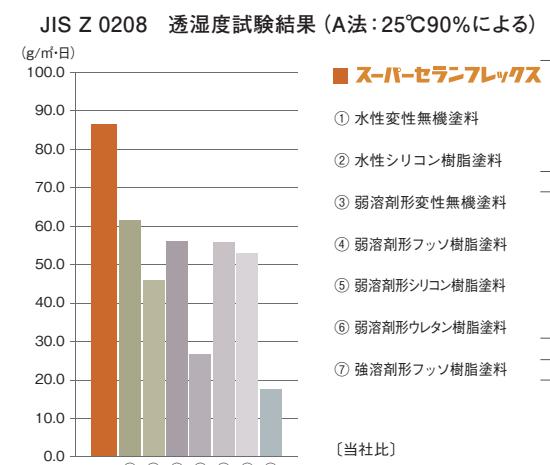
透湿性の高い塗料は、雨などの水滴は通さずに、水蒸気を逃がす性質を持ちます。

この性質により、熱膨張の原因となる水分を効率的に排出することができます。

※ 水滴 … 直径100～300μm 水蒸気 … 直径0.0004μm

Point!

窯業系サイディングやALCパネルなどの蓄熱性の高い部材を用いた建物の塗替えに最適です。



特長
5

防カビ・防藻性

防カビ・防藻性を有し、カビや藻の発生を抑制します。

さらに

『下地調整材』との組み合わせで
新たな **機能を追加** できます。

部材: 窯業系サイディング の塗替えにおすすめの工法

カチオン形水系エポキシシーラー
『ダイヤワイドシーラー』との組み合わせ

追加機能 サイディング付着性

特長
6

旧塗膜適性

各種下地調整材を使用することにより、幅広い下地適性を発揮します。

部材: ALC の塗替えにおすすめの工法

無機透湿微弾性フィラー
『ダイヤセラ・トーシツプラス』との組み合わせ

促進機能 透湿性

部材: RC・木造 の塗替えにおすすめの工法

防水形弾性フィラー
『ダイヤアクレスフィラーダンセイ』との組み合わせ

追加機能 防水性

ダイヤスーパー・セラニフレックス 標準工程

標準仕様

工程		製品名	調合割合	所要量	塗回数	間隔時間		施工器具
	工程内					工程間		
1	素地調整	〔新築〕各下地に対して、標準仕様書に基づいた処置を行って下さい。 〔改修〕各改修工事仕様に基づいて、劣化部分のケレン、補修、汚れの除去などを行って下さい。						
2	下塗材	ダイヤワイドシーラー 無希釈	15kg	0.1～0.15kg／m ² 100～150m ² ／缶	1	—	2時間以上	中毛ローラー 刷毛、エアレス
3	上塗材	ダイヤスーパーセラフレックス A液 B液 清 水 刷毛・ローラー エアレス	14kg 1kg 0～1.0リットル 0.8～1.6リットル	0.2～0.3kg／m ² 50～75m ² ／セット	2	2時間以上	—	中毛ローラー 刷毛、エアレス

※乾燥時間は、標準状態(23°C、50%RH)での時間を示します。
※シリコン、フッソ樹脂塗料、無機塗料、光触媒などの下地は別途お問い合わせ下さい。
※既存塗膜の形状や素材、塗装方法、環境などによって所要量が増減することがあります。

標準仕様【半艶】

工程	製品名	調合割合	所要量	塗回数	間隔時間		施工器具
					工程内	工程間	
1	素地調整	[新築] 各下地に対して、標準仕様書に基づいた処置を行って下さい。 [改修] 各改修工事仕様に基づいて、劣化部分のケレン、補修、汚れの除去などを行って下さい。					
2	下塗材	ダイヤワイドシーラー 無希釈	15kg	0.1~0.15kg／m ² 100~150m ² ／缶	1	—	2時間以上
3	上塗材	ダイヤスーパーセラんフレックス 半艶 A液 B液 清 水 刷毛・ローラー エアレス	14kg 1kg 0~1.0リットル 0.8~1.2リットル	0.2~0.3kg／m ² 50~75m ² ／セット	2	2時間以上	— 中毛ローラー 刷毛、エアレス

※乾燥時間は、標準状態(23°C、50%RH)での時間を示します。
※シリコン、フッソ樹脂塗料、無機塗料、光触媒などの下地は別途お問い合わせ下さい。
※既存塗膜の形状や素材、塗装方法、環境などによって所要量が増減することがあります。

※「ダイヤスープーセランフレックス」と「ダイヤスープーセランフレックス 半艶」は、
着脱割合が異なりますのでご注意下さい。

塗替え仕様（窯業系サイディング下地 推奨仕様）

工程	製品名	調合割合	所要量	塗回数	間隔時間		施工器具	
					工程内	工程間		
1	素地調整	各改修工事仕様に基づいて、劣化部分のケレン、補修、汚れの除去などを行って下さい。						
2	下塗材	ダイヤワイドシーラー 無希釈	15kg	0.1~0.15kg／m ² 100~150m ² ／缶	1	—	2時間以上	中毛ローラー 刷毛、エアレス
3	上塗材	ダイヤスーパーセラフレックス A液 B液 清 水 刷毛・ローラー エアレス	14kg 1kg 0~1.0リッル 0.8~1.6リッル	0.25~0.35kg／m ² 43~60m ² ／セット	2	2時間以上	—	中毛ローラー 刷毛、エアレス

※乾燥時間は、標準状態（23°C, 50%RH）での時間を示します。
※シリコン、フッコート樹脂塗料、無機塗料、光触媒などの下地は別途お問い合わせ下さい。
※既存塗膜の形状や素材、塗装方法、環境などによって所要量が増減することがあります。

可使時間

氣溫	可使時間	塗裝間隔時間(工程內)
5~15°C	10時間以內	4時間~7日
15~25°C	8時間以內	2時間~7日
25~35°C	6時間以內	2時間~7日

適用下地

- コンクリート面
 - モルタル面
 - ALC面
 - 窯業系サイディングボード面及び各種塗膜面

[シリコン・フッソ樹脂塗料、無機塗料、光触媒などの下地は別途お問い合わせ下さい。]

替え仕様 (ALC下地 推奨仕様)

工程	製品名	調合割合	所要量	塗回数	間隔時間		施工器具
					工程内	工程間	
素地調整	各改修工事仕様に基づいて、劣化部分のケレン、補修、汚れの除去などを行って下さい。						
下塗材	ダイヤセラ・トーシツプラス 清 水	16kg 1.6~2.4リットル	0.3~0.5kg/m ² 32~53m ² /缶	1	—	5時間以上	中毛ローラー
下塗材	ダイヤセラ・トーシツプラス 清 水	16kg 0.5~0.8リットル	0.6~0.7kg/m ² 22~26m ² /缶	1	—	16時間以上	多孔質ローラー
上塗材	ダイヤスーパーセランフレックス A液 B液 清 水 刷毛・ローラー エアレス	14kg 1kg 0~1.0リットル 0.8~1.6リットル	0.25~0.35kg/m ² 43~60m ² /セット	2	2時間以上	—	中毛ローラー 刷毛、エアレス

時間は、標準状態(23°C、50%RH)での時間を示します。※既存塗膜の形状や素材、塗装方法、環境などによって所要量が増減することがあります。コーン、フッ素樹脂塗料、無機塗料、光触媒などの下地は別途お問い合わせ下さい。
塗膜の劣化が著しい場合やセメント系下地の場合は、ダイヤガンコンシーラーマイルドまたはダイヤワイドシーラーを塗布して下さい。

替え仕様（コンクリート・モルタル下地 推奨仕様）

工程	製品名	調合割合	所要量	塗回数	間隔時間		施工器具
					工程内	工程間	
素地調整	各改修工事仕様に基づいて、劣化部分のケレン、補修、汚れの除去などを行って下さい。						
下塗材	ダイヤアクレスフィラーダンセイ 清 水	16kg 0.8~1.6リットル	0.3~0.5kg/m ² 32~53m ² /缶	1	—	16時間以上	中毛ローラー
下塗材	ダイヤアクレスフィラーダンセイ 清 水	16kg 0.6~1.0リットル	0.8~1.0kg/m ² 16~20m ² /缶	1	—	16時間以上	多孔質ローラー
上塗材	ダイヤスーパーセランフレックス A液 B液 清 水 刷毛・ローラー エアレス	14kg 1kg 0~1.0リットル 0.8~1.6リットル	0.25~0.35kg/m ² 43~60m ² /セット	2	2時間以上	—	中毛ローラー 刷毛、エアレス

※既存塗膜の形状や素材、塗装方法、環境などによって所要量が増減することがあります。
※既存塗膜の形状や素材、塗装方法、環境などによって所要量が増減することがあります。
※既存塗膜の形状や素材、塗装方法、環境などによって所要量が増減することがあります。

施工・保管上の注意点

【表面の調整(新設)】
素地に付着している汚れ、汚れ、油脂類、レインス等を完全に除去して下さい。
セメント下地は、表面の含水率10%以下(H10以下)になるまで放置して下さい。下地モルタルは十分に乾燥させて下さい。モルタルの乾燥期間は、夏期1週間、冬期で2週間以上必要です。コンクリート下地は、夏期で2週間、冬期3週間に以上乾燥が必要です。
雨上がり後は、均一に乾いてから施工して下さい。
【Cパネル、現場打コングリートの際】
1)豆板、木板、不規則箇所、不整などは、セメンシャ#2000、セメンシャ#2500等の下地調整材使用し、補修して平滑にして下さい。
2)表面に繊維でイタス層がある場合は、レインスを除去し、ダイヤマーーラエボをご使用下さい。
ALC(アル)の場合はダイヤマチオフィラーツを塗布して下さい。
【表面の調整・修(改)修】
屋上防水、目地排水管など水の浸透が予想される箇所については、事前に十分点検し適切な処置をして下さい。
使用するシリグムの種類により塗膜のひび割れ、剥離、ブリード等の異常を生じる場合があります。あらかじめ塗装仕様を確認して下さい。
各現場の改装工事仕様に基づき劣化部分の補修や既存塗膜の処理(ケレン、清掃、高圧水洗浄)などを行なって下さい。
脆弱層が厚い場合には、取り除いてから施工して下さい。
ショーキングは、サンダー、ワイヤーブラシ等でケレン後、高圧水洗で除去して下さい。
シリジン面、吹付け干し面、弹性塗材面等の既存塗膜でアクリルシリコン系まで適用できます。フッ素系下地は適用できません。既存塗膜の種類により所要量は変わります。
【材料の保管・管理】
用いた材料は必ず密封し、直射日光や雨露を避けて保管して下さい。
材料の保管は床板や屋上等に上昇する湿気を遮るために、気温5~35℃で、密封のまま直射日光を避け、屋内に貯蔵下さい。長い時間貯蔵したものは一分拌拌し、変質の有無を確認して下さい。
漆は湿気硬化性のため、使用後は必ず密栓し、水分が混入しないように保管して下さい。
漆は危険物ですので、火気や換気は十分注意して保管して下さい。
【工】

気温5℃以下、降雨、降雪、強風下および湿度85%以上作業後に降雨・降雪の恐れがある時は雨(雪)養生をし

材料と使用前に十分押掛ける、均一にしてから使用して下さい。配合割合を誤りますと、成膜不良や本来の塗膜性能が発現しませんので注意して下さい。

材料と付着乾燥しますと取ませんので、完全に養生をして下さい。塗面付周辺の養生を完全に行ない、施工建物の周囲に飛散しないように注意して下さい。塗付後は、速やかに養生紙や養生テープを取り除き掃除して下さい。乾燥時間は、養生テープを取り除く場合はカッターを入れて下さい。そのまま取り除きますと殻が残りります。

乾燥時間は、温度、湿度、およそ風速等により異なります。

シングルペーパーを使用する場合は十分な時間が以上のものを使用下さい。

下地に十分に乾燥してから施工下さい。乾燥不十分の場合、色ムラ、剥離等の生じる原因となります。

施工があった時は、同一方法で、入隅、凹頭等見切りの良いところまで仕上げて下さい。同一箇所途中での塗り継ぎは色違いやムラの原因になります。

施工後24時間以内に降雨、結露等があった場合、水分の影響で白色や白雲マグロが発生し、壁面に残る場合があります。本施工に入ると前回試験塗りを行い、施工のタイミング、粘度、塗布量などをチェックし、仕上がりがムラにならないよう確認して下さい。

新規する場合、希釈量を厳守して下さい。薄め過ぎるときれいに仕上らないことがあります。特に濃色や下地の吸い込みがない場合等は少なめに希釈して下さい。

常温露地がある場合は、容器の表面も合わせてご参照下さい。

一度厚く塗ると色彩が発泡していることがありますので、一定時間をおいて、規定回数以上に分けて塗布して下さい。